

復活・再生にかける オキナワンスピリッツ ―情熱―

沖縄に伝わる独自の文化や風習、貴重な工芸品など、これから先も受け継いでいきたい取り組みや沖縄への想いをご紹介します。



ていーだぬやがま家で開催された「ユツカヌヒーーいちゃりば祭(さい)」わらべ唄コンサート

わらべ唄から
昔の沖縄がわかるのね!



「ていーだぬふぁ童唄会」、わらべ唄普及研究会「うぶちゅぬ会」主宰の宮城葉子さん

近年、ライフスタイルの変化によって核家族が増え、うちなあぐちを話せる世代と暮らす子どもたちが減っています。「ていーだぬふぁ童唄会」主宰の宮城葉子さんは、うちなあぐちを話せる人の減少に危機感を感じ、約30年前からわらべ唄を通して子どもたちにうちなあぐちと沖縄の歴史を伝えようと普及活動をはじめました。

「沖縄に生まれてうちなあぐちを話せないのは寂しいこと。子どもたちに歴史や文化を含む、沖縄の真の姿を伝え、うちなーんちゅとしての誇りを感じて羽ばたいて欲しい」と宮城さん。1991年には「ていーだぬふぁ童唄会」を立ち上げ、自宅を開放して活動を行ってきましたが、2006年に念願の沖縄文化の発信拠点となる古民家「ていーだぬやがま家(やー)」を



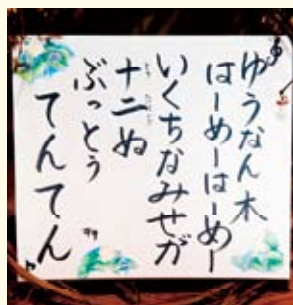
活動の拠点となっているうるま市田場の古民家「ていーだぬやがま家(やー)」

当時の風習や社会背景、 心情が伝わる「わらべ唄」

沖縄のわらべ唄は、子どもたちが木登りや、川・田んぼで遊ぶ中で自然に生まれた遊び唄をはじめ、雨や虹などの気象・天体の唄や手まり唄、蛸やカマキリなどの昆虫、家畜などが題材の動物わらべ唄、外国軍艦の入港や薩摩支配下の状況を唄った風刺唄、鬼ムーチャーや旧正行事の祭事唄など、実にさまざま。中には人頭税の辛さや貧困を唄ったものもあり、歴史的背景を唄っているのが他府県のものとは異なる大きな特徴といえます。

「わらべ唄から当時の文化や歴史、社会背景、伝統行事や風習、人々の心情までいろいろなことが伝えられる」と宮城さん。またカボチャひとつ取っても、具志川では「チンクワ」で金武町では「スンブ」というように、その歌詞も県内各地・離島などで異なり、地域性が如実に表れます。

「単語だけでうちなあぐちを教えようとしても限界がある。わらべ唄遊びにすることで子どもたちが言葉を覚えやすく理解しやすい。唄遊びが自然と身体になじみ、児童文化の教材になっていきました」とこれまでの活動を振り返ります。



宮城さんも幼い頃に唄った、ゾウムシをおばあさんに例えた具志川天願のわらべ唄「ゆうなんぎーハーメー」の歌詞

広がりを見せはじめる 地道な活動

小中学校でうちなあぐちを教える退職者ボランティアの「わらべ唄や民話をもっと学びたい」との要望に応え、宮城さんは4年前に大人のためのわらべ唄普及研究会



学んだわらべ唄やしまくとぅばを子どもたちに教える「うぶちゅぬ会」メンバー



かわいい動作を交えてわらべ唄を披露する「ていーだぬふぁ童唄会」の子どもたち

「うぶちゅぬ会」も発足。活動の中で子どもたちとシニア世代を結び、孫と祖父・祖母と一緒に遊んで学べる場づくりに成功しています。

これまでにストックしてきたわらべ唄の数は、自身が幼い頃に遊びながら唄ったわらべ唄をはじめ、地域のお年寄りに聞き取りをした古いもの、かつての上司である沖縄わらべ唄研究の第一人者、高江洲義寛氏や作曲家の杉本信夫氏、沖縄のわらべ唄の本土での普及に精力を注いだ仲吉史子さんが採譜したものなどを合計すると「10



宮城さんが天願小学校の子どもたちに行ったわらべ唄と民話の放課後学級の様子



約30年前に具志川市(現うるま市)教育委員会が発行した民話集「きじむなあふるさとの昔ばなし〜」

00曲以上あるのではないかと宮城さん。今後は、2003年に38曲のわらべ唄を収録したCDの続編「わらべ唄全集を作りたい」と意欲的です。

「ていーだぬふぁ童唄会」では、今では保育士として教えるを広めたり、わが子にわらべ唄や民話を教えている卒業生もいるそうです。「30年続けてきた沖縄わらべ唄文化の継承・普及が少しずつ実を結びはじめています」。継続は力なり―その言葉の重みを改めて感じました。

今後の展望

宮城さんは現在、30年間の活動の集大成として、わらべ唄全集や旧具志川市(現うるま市)教育委員会が発行した民話集のうちなあぐち訳と紙芝居化、うちなあぐちでの朗読CDとわらべ唄全集の制作に取り組んでいます。この取り組みは県の「平成24年度沖縄文化活性化・創造発信支援事業」にも応募しており、「採用されれば、優れた沖縄の児童文化教材として保育園や学校現場などで使え、より一層、沖縄文化の継承・普及が図れる」と熱く語っていました。



2003年に制作したわらべ唄のCDと影響を受けた仲吉史子さんのわらべ唄のCD

